

# 学校支援地域本部事業実践現場訪問

## 花壇づくり ~地域ボランティアの学校支援~ 色麻町立色麻小学校

### 1 はじめに

色麻町では地域のみんなで子どもたちを育むため、地域の方々をボランティアとして学校のニーズに応じて派遣し、学校が必要とする活動を支援する「色麻町学校支援地域本部」を設立し、さまざまな学校支援活動を行っています。それは簡単に言うと、地域の人たちによる学校の応援団組織です。

学校支援ボランティアのみなさんは、学校の学習活動の手伝いや校舎内外の環境整備、登下校時の安全指導などのボランティア活動を行います。色麻町ではこれまでもすでに学校支援ボランティアによる多くの学校支援活動を実践してきましたが、今回改めて町民の方々に学校支援ボランティアの募集をしたところ、たくさんの方々からボランティア登録の申込があり、現在80人以上の町民のみなさんが学校支援ボランティアとしての登録をしています。まさに、「地域の子どもたちを地域で育てていく」という地域ぐるみで子どもを育てるための体制が整っているのです。

今回、3,4年生の総合的な学習の時間で行われた花壇づくりの学習は、「色麻町学校支援地域本部事業」として行われました。学校と学校支援ボランティアをつなぐ地域コーディネーターのコーディネートによって、「花植えボランティア」のみなさんが多数来校され、子どもたちの学習のお手伝いをしてくださいました。この学習の様子は、県政情報番組である「週間 とれたて！みやぎ」でも取り上げられ、『みやぎらしい協働教育』の実践の一コマとして放送されます。

2 実施日 平成21年6月23日(火)

3 会場 色麻小学校校庭、色麻小学校前花壇

### 4 取組の概要

今回の学習には、色麻町学校支援ボランティアの中の「花植えボランティア」のみなさん16名と教育委員会社会教育課の職員が参加して指導にあたりました。「花植えボランティア」のみなさんは、『ボランティア しかま』の名前のはいた黄色のジャンパーを着て花の植え方などを親切に子どもたちに教えていました。今後、4年生では社会科の郷土学習でも学校支援ボランティアの方をゲストティーチャーに迎えた学習をすることになっているそうです。また、「田植え」をはじめとした農業体験学習でも学校支援ボランティアの方々のお世話になっています。花壇づくりの学習では、4年生は校庭にある丸い大きな花壇づくりを、3年生は学校前の道路の脇の花壇づくりを行いました。

学習の終わりには代表の児童から、「花植えをして楽しかった。」「お忙しい中花の植え方を教えてもらってありがとう。また来てください。」といったお礼のあいさつがありました。その言葉にほほえむボランティアのみなさんの姿がとても印象的でした。ボランティアのみなさんからも、「子どもたちと活動できて楽しい。」「自分にとってボランティア活動は張り合いになる。」といったお話もうかがうことができました。

色麻小学校の氏家校長は、学校が地域から学ぶことの重要性を強調され、「子どもたちが地域から学ぼうとする姿勢がやがて地域を愛する気持ちにつながっていく。」さらに、「地域の人たちといっしょの活動を通して、成長するものへの優しさといっしょに活動することの楽しさを味わってほしい。」と話してくださいました。

### 5 色麻小学校を訪問して

子どもたちと学習支援ボランティアのみなさんが笑顔で学習活動に取り組む姿が非常に印象的でした。学校が特色ある教育や学校づくりを進め、そこに家庭や地域の人たちが協力し、それを行政がしっかりと支えている様子を見ることができました。学習支援ボランティアと接することは、子どもたちだけではなく、ボランティアのみなさんにとっても「楽しさ」や「喜び」になっていることを実感しました。

【取組の様子】



地域コーディネーターのコーディネートによって集まった学校支援ボランティアのみなさん。



学校支援ボランティアの代表の方から花植えの仕方について説明を聞きました。



まずボランティアのみなさんが花植えの見本を見せてくれました。



子どもたちは一つ一つ愛情をこめて花を植えました。



4年生は校庭の一角にある大きな丸い花壇に花を植えました。



3年生は学校の前にある国道脇の花壇に花を植えました。



花は町の社会教育課が手配してくれました。どのように植えたらきれいになるか考えました。



子どもたち全員が花植えを行いました。自分の植えた場所も確認しました。